

山川造船鉄工株式会社

平成 25 年度 補正予算事業

高所作業における生産工程の高効率化による競争力強化事業

船舶修繕に係る高所作業で12mの高所作業車を使用し、届かない箇所はクレーンにゴンドラを吊り下げて作業を行っているが、工数が多く危険が伴う。新たに18mの高所作業車を導入してゴンドラ作業を廃止し、工数の削減、製造原価削減、労働安全性の確保を目指す。



導入した高所作業車

事業のきっかけと目的

Motivation

当社の主たる事業内容である船舶修繕事業では、特に高所作業の作業性、労働安全性、効率性において課題を多く抱えている。修繕船の高さは15m以上あるため、12mの高所作業車は届かず、クレーンでゴンドラを吊り下げて工事を行うこともある。18mの高所作業車と塗装作業に必要なスプレーガンの受け台を導入し、作業性と安全性の向上を目指すことを目的とする。

事業の取り組み内容と成果

Progress

18mの高所作業車を導入することで、工数が多く、危険の伴うゴンドラ作業の廃止を図った。これにより、ゴンドラ作業にかかっていた工数を1/3～1/6に削減することができた。また、1隻あたり18～22万円の工事原価削減が見込まれるとともに、労働安全性も確保することができた。

山川造船鉄工株式会社の思い



あらゆる産業の国際化、高度情報化、技術革新が進む中、船舶修理業も例外ではありません。

コスト削減、工期短縮、新たな技術の導入などお客様のあらゆるニーズに応えるため、山川造船鉄工(株)は常に新たな可能性に挑戦し、お客様と共に歩み続けます。



旧式はアームが短い



作業範囲が大きく広がった



高所作業の様子

事業化に向けての今後の取り組み

Future

これまで使用していた高所作業車は制限が多く、工期やコスト、工事品質等に改善の余地があった。

しかし、新たな高所作業車を使用することでこれらの問題の多くが解決される。そこで生じる営業上のアドバンテージを生かし、近場の港に出入りする船舶をターゲットとして新規顧客開拓の展開を図る。



企業の生い立ち

昭和5年の創業以来、数多くの船舶を建造し、世に送り出してきたが、平成12年以降は船舶修理の専門業として経営資源を集約し、技術力の向上とサービスの拡充に取り組んでいる。

現在では県内外のお客様より駆け込みドクターとして広く親しまれている。



事業者	山川造船鉄工株式会社
代表者	代表取締役 篠原 秀嗣
設立年月日	昭和17年7月18日
所在地等	〒891-0511 指宿市山川福元5763番地 TEL 0993-34-1131 FAX 0993-35-3162 E-mail info@yamakawasb.co.jp URL http://www.yamakawa-zousen.com/
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	5,500万円
従業員数	16名
業種	船舶修理業